要 望 書

令和３年１０月６日

一般社団法人 苫小牧建設協会

要 望 趣 意 書

日頃より、地元建設業界に対しまして、格別のご理解とご支援並びにご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

これまで私ども建設企業は、地域における主要な産業として、地域の雇用を確保し、経済の下支えとしての役割を果たすとともに、地震や風水害等の災害発生時における迅速な対応や、さまざまな地域貢献への取り組み等、社会基盤の形成維持に微力ながらも尽力してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染が続き鎮静化の兆しが無く、新たな変異ウィルス感染拡大により、感染防止対策を実施しながらの現場運営を余儀なくされ、就業者の減少や工事の中止など、厳しい状況に陥ることが懸念されます。

さらには、気象変動に伴う大型台風の発生や線状降水帯による集中豪雨等の頻発化により、甚大な被害が多発しており、災害から市民の命と暮らしを守るため、防災・減災への対応能力強化の取り組みについて、各種インフラを対象に検討していく必要があると考えております。

木材の不足や価格高騰が続く厳しい環境にあり、実勢価格の把握や長期的安定的な予算の確保、工事発注時期の平準化、働き方改革推進に向けた取り組みなどが強く求められております。

地域の基幹産業として活力を持続することで、社会資本が適正に維持・活用され、地域の安全・安心が確保されるものと確信しております。

従いまして、一般社団法人苫小牧建設協会会員の総意として、次のとおり要望いたしますので、特段のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和３年１０月６日

一般社団法人 苫小牧建設協会

会長　宮　﨑　英　樹 [redacted]

市　要　望　事　項

1　ＩＲ構想の強力で継続的な推進

2　災害に強いまちづくりの構築

イ）津波浸水予測に基づく津波対策の早期構築

ロ）地震時の液状化を防止する工事等、液状化対策の検討

ハ）急傾斜地の崩壊や地すべり等に関する土砂災害対策の早期構築

ニ）緊急車両の動線や市民の避難路確保（無電柱化・市道舗装道路平坦性の早期改善）

3　苫小牧東部地域への新たな企業誘致及び地元企業の活用

4　都市環境の整備促進

イ）市道東部南通線（臨港道路 東港南通）の勇払橋架替及び道路拡幅

ロ）美沢錦岡通の道路整備促進

ハ）中心市街地への居住の促進

ニ）都市浸水対策及び下水道施設の老朽化対策推進（集中豪雨等による冠水対策）

ホ）植苗・美沢土地利用計画の整備促進

ヘ）ＪＲ線新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上

ト）苫小牧登別通（仮称）の道路整備の早期実現

チ）都市再生コンセプトプランの早期実現

5　令和４年度公共事業の予算枠拡大並びに発注時期の平準化

6　発注工事に関する改善

イ）土木・建築工事における、あらゆる発注工事の地元企業の活用

ロ）働き方改革推進に向け週休２日制等に対応した工期の設定

ハ）労務単価、建設資機材の実勢価格の把握と反映（見積活用方式の導入）

ニ）受注後の資材調達期間及びその他施工不可能期間等の経費反映

ホ）工事着手前の三者協議の実施

ヘ）電子入札の段階的な導入